

価値あるロータリー活動を を続けていくために

対談シリーズ 第4回

「親善と平和の確立に寄与する」ことを目指した、国際ロータリー。先の見えにくい社会の中で、どのような役割を必要とされているのか、国際ロータリー第2520地区ガバナーに就任した菅原裕典氏が各界の第一人者に聞いた。

菅原 国際ロータリーの世界年次大会が16年5月28日から6月1日まで韓国ソウルで開かれます。世界から4、5万人のロータリアンが韓国を訪れ、日本からは1万人、私がガバナーをしている宮城、岩手の第2520地区からは300人をお連れしようと、頑張っています。東北からは500人から600人がソウルを訪れます。

梁 15年はどちらの国で開催されたのですか。

菅原 15年はブラジルで開催しました。韓国にはおいしい物や美しい観光地もたくさんありますので、とても楽しみにしています。

私が所属する仙台泉ロータリーは、ソウルメトロロータリーと姉妹クラブとなっており、地区大会ではお互い訪問して交流するなど、韓国のロータリーとはとてもつながりが

深いのです。しかし、東日本大震災から約5年が経ちますが、韓国の方が宮城、東北まで足を伸ばしてくれませんか。東北、宮城に遊びに来ていただければ、様々な機会を通して働きかけをしたいと思っています。

梁 いま、菅原さんがお話されたことは、駐仙台の大韓民国総領事として考えていることとまったく同じなので、とても嬉しいですね。

私は、13年8月から副総領事として1年半、仙台にいました。そして15年2月に帰国し、2カ月間教育を受け、4月に総領事として仙台に赴任しました。村井嘉浩宮城県知事を表敬訪問したとき、村井知事からはアジア航空を毎日運航できるようにしたいと言われ、私からは、ソウルにある宮城県事務所を宮城県産品などのアンテナショップにしてはどうかなどを、提案いたしました。



仙台の韓国観光公社・韓日観光交流センターが閉鎖されそうになったとき、東京の大使にお願いして、それを止めることができたときはとても嬉しかったです。できるかどうか本当に分からなかったのですが、大使が村井知事を昼食会に招待するなどして実現できました。

円安で、多くの韓国人が日本に来ていますが、東北を訪れる人はまだまだ少ないのでとても残念ですが、私どもの駐仙台総領事館では、東北



韓国総領事館(仙台市)前で

「日韓交流のために ロータリーの力を」

2015-2016年度
国際ロータリー第2520地区
ガバナー 菅原裕典氏



1960年仙台市生まれ。2001年から
関清月記社長。7月1日から宮城、
岩手県の第2520地区ガバナー

「仙台人だと思って、文化、 経済交流を考えたい」

——駐仙台大韓民国総領事館 総領事 梁 桂和氏

ヤン・ケファ 1958年大韓民国全羅南道生まれ。淑明女子大学独文学科卒業。1980年大韓民国外務部入部。その後、駐日本大韓民国大使館副領事。慶応大学研修。駐広島大韓民国総領事館領事、駐フランクフルト大韓民国総領事館領事。2006年2月駐ネパール王国大韓民国大使館参事官。2007年2月駐ネパール大韓民国大使館参事官、駐瀋陽大韓民国総領事館領事。2013年8月駐仙台大韓民国総領事館副総領事。2015年4月8日から現職。



菅原ガバナーは梁総領事を訪問した記念として、「今日に感謝」と揮毫した。

宮城、仙台の魅力発信するために頑張っています。

菅原 昨春秋、松島で月見の会が

開かれ、海面に月が映った光景を見たとき、これほどの絶景はないなと感じました。宮城、仙台に住んでいると、松島や青葉城には何もないので、あえて行かないという方が多いのですが、とんでもありません。とくに外国から来られる方にとっても素晴らしい場所だらけではないかと思ひます。そうしたことをたくさん発信していくことが大切ですね。

梁 15年10月27日までの10日間、日韓美術交流展が仙台で開催されました。韓国から画家や音楽家3人が訪問したのですが、いま菅原さんが話された松島に泊まったのです。一人の画家が、松島の風景に見とれて扇に描きました。その扇はすぐに日本の方が買われたそうですが、画家は、「寝ているのがもったいなくて、とても寝ていられなかった」と話していたそうです。

菅原 そうした宝物が、たくさんあります。私も民間人も力を合わせ、多くの観光地のPRをしていかないとはいけません。仙台空襲などで消失した仙台城址の大手門はじめ、多くの遺構が復元できればもっと素晴らしい場所になると思います。

仙台は、東京からわずか1時間30分、そして100万人都市、仙台市二本目の地下鉄東西線も開業しました。東北の良さが仙台に集中していますので、もっとアンテナを高くして、しっかりとおもてなしをしないとけないと思います。

梁 マスコミはじめ日韓関係では様々なことが言われていますが、実際、人と会ってみたい、訪問するとイメージとはまったく違うことに気がつきます。日韓美術交流展で仙台に来た方は、大震災後で殺伐としていて、思っていたようですが、実際に来ると、こんなに緑が多く、綺麗で安全で、そしてとても皆さんが親切なので、びっくりしていました。総領事館の仕事の一つは、韓国人の保護です。二つめはこの地と韓国との文化的、経済的交流を促進して密接にすることです。私は、ここにいる間は仙台人だと思って、どうすれば韓国から人が来てくれるのか、そしてこの地の方々が韓国に来てくれるのかを考え、行動したいと思ひ

菅原 15年は日韓交流50周年の年で、様々な行事が行われましたね。

梁 4月28日には韓国伝統音楽会を仙台市民会館で開催、韓国から国宝級の方が15人来ました。松島や秋保温泉などの観光地にも感動していました。またチマチヨゴリと和服のファッションショーや韓国琴と日本の三味線の演奏会なども開かれました。奥山恵美子仙台市長にはチマチヨゴリを着てもらい、とてもお似合いました。私は和服を着させてもらいました。総領事館の南宮煥(ナムグンファン)領事が中心となり、大震災後、仙台白菜で作るキムチフェスティバルを開催しています。

菅原 日本に学びに来ている学生たちを応援しようというロータリー米山奨学会では、韓国の方が一番多いのです。16年3月27日には、仙台国際センターで第2520地区大会が開かれますので、ぜひ梁総領事にぜひ参加いただければと思います。

梁 世界200カ国以上の国がある中で、日本と韓国は一番共通点が多い国なのです。もっとも文化、経済面での交流を深め、できればアジア航空毎日便の会を一緒に作りませんか。

菅原 より日韓との交流を深めるために、今後とも国際ロータリー第2520地区が貢献できるよう頑張っています。本日はお忙しい中、大変ありがとうございました。